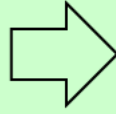


地域の農業は地域で守る集落営農 ～ 農事組合法人 たかだ ～

経営体の概要

法人化前：平成28年度
基幹作物：水稻
経営面積：各農家個々に経営



現在：令和2年度
基幹作物：水稻17.5ha、飼料用米6.4ha
WCS1.8ha、野菜約1.4ha
経営面積：自作地12.1ha、借地15.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

国営事業で用水が安定供給され水管理作業の軽減が図られたが、高齢化により個人での営農が難しくなり、行政指導の下、地域住民が農作業に協力することを前提とした法人を平成29年に設立している。

法人設立を契機に、水稻の他、飼料用米、WCS、アスパラガス及びこまつなを組み合わせた営農を行っている。法人では更なる省力化を図るため、ドローンによるWCSの直播栽培試験に取り組み、令和3年以降、その規模を拡大する予定である。

営農改善のポイント

① 経営規模の拡大

法人化を契機に農地の集積を行い、小区画の水田には大型機械が導入できるよう法人が直接、耕作道を作り替えるなど効率的な営農環境を整えている。事業による用水の安定供給が可能となったことにより、かん水が容易となった水田畑利用によるアスパラガスの栽培等の高収益作物を新たに導入している。



水田畑利用のアスパラガスほ場

② 栽培技術の確立・向上

法人では、労力の軽減を図るため、ドローンを利用したWCSの直播試験栽培を、種子メーカー、ドローンメーカーと連携し実証している。令和2年度は80aに作付し成育も良好であったことから、令和3年には2haに拡大し、今後、主食用米での試験栽培を行い直播栽培への移行を考えている。



ドローンによるWCS直播ほ場

③ 集落の信頼・結束

法人の名称は集落名「高田」からとっており、地域の農地を地域住民で守っていく取り組みを行っている。田植えや稲刈りなどの農作業は、SNSを活用し作業日や作業人員の調整を行っている。若い住民が参加することにより、その家族も積極的に作業協力の申し出があるなど集落の結束が強くなっている。



ライスセンターの内部

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市：米沢市、南陽市、高畠町、川西町
受益面積：8,804ha
事業期間：平成18年度～平成27年度
事業目的：用水改良
主要工事：貯水池2箇所、頭首工6箇所、揚水機場2箇所
用水路13路線、用水管理施設、発電施設

位置図（山形県）



米沢平野二期

<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
(内線4460)

(令和2年度調査時点)